

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	27_大阪府
市区町村名	27205吹田市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状 値の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
吹田市	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	本市では地域の活力を活かし、小学校の校庭等を利用した放課後見守り事業「太陽の広場」を実施しています。しかし、共働き世帯の増加や高齢化といった社会構造の変革により、子供達を見守る安全管理員の確保が難しくなっており、実施回数の増加が困難です。その後、放課後における子供達の居場所の選択肢が限られた状況にある。	引き続き、説明会や連絡会等を通して、安全管理員の募集を周知します。また、近隣の大学へスタッフ募集を呼びかけます。さらに、保護者に対してはインターネットツールを活用して募集活動を行い、新たな人材の確保に努めます。	令和6年度から36校中、担い手不足等で事業継続が難しくなっている2校で、民間委託モデル事業を2年間実施した。	安全管理員が増員することで、事業実施回数の増加が見込まれ、結果として子供達の居場所の選択肢が広がり、子供の健全育成に資することとなる。	太陽の広場（居場所）の実施回数（選択肢）	1684	件	2026	1684	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 雨天時や熱中症対策で空き教室を確保することが難しいため、多くの学校で中止を余儀なくされています。特に猛暑による中止が相次ぎ、開催回数の増加が見込めない状況です。また、見守りを担当する地域ボランティアの確保も困難で、支援体制の拡充が急務です。このような状況を踏まえ、大学との連携をさらに強化し、学生ボランティアを積極的に獲得する仕組みづくりを検討することで、放課後の居場所事業を継続的に推進できるよう取り組んでいきます。	https://www.city.suita.osaka.jp/kosodate/1018331/1018332/1013602.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。